

第1回木与防災対策検討委員会の結果について

山陰道（木与付近）の計画について、具体の防災対策の検討を行うため、平成29年2月6日に防災の専門家からなる木与防災対策検討委員会を設置し、第1回の委員会を開催しました。開催結果について、別紙のとおりお知らせします。

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

TEL 0835-22-1819（直通）

第1回木与防災対策検討委員会

《議事要旨》

1. 日 時

平成 29 年 2 月 6 日(月)14:00～15:30

2. 場 所

山口大学 工学部(常盤キャンパス) 本館 第3会議室

3. 出席者<委員>

◎ 進士 正人	山口大学 大学院創成科学研究科 教授
中田 幸男	山口大学 大学院創成科学研究科 教授
清水 則一	山口大学 大学院創成科学研究科 教授

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

- (1)規約について
- (2)木与防災対策検討について

5. 結 論

- ・木与付近は通行止めが頻繁に発生し地域や利用者に多大な影響を及ぼしている。防災上の課題解消は重要であり、緊急的に対策を行う必要がある。
- ・配慮すべきコントロールポイントとして抽出された、地形・地質リスク及び土地利用状況は概ね妥当。
- ・今後のルート選定にあたり、トンネル坑口位置については特に慎重に検討するとともに、リニアメント(破碎帯の可能性の高い箇所)、地下水等の影響を十分に考慮した検討を行うべき。
- ・現在のJRトンネルの過去の施工状況についても、できる限り参考にし て検討を進めること。

配慮すべきコントロールポイント

第1回 木与防災対策検討委員会:平成29年2月6日



凡 例	
	国道
	急傾斜・崩壊危険区域(地すべり地帯)
	神社・仏閣
	施設等
	集落
	国営農地造成
	ルート帯(平成29年1月決定)
	特に回避が必要な課題